

平成二十八年国土交通省令第五号

建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律施行規則

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（平成二十七年法律第五十三号）の規定に基づき、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律施行規則を次のように定める。

目次

第一章 建築士の努力義務（第一条）

第二章 建築士の基準適合義務等（第二条―第十九条）

第三章 建築物エネルギー消費性能向上計画の認定等（第二十―第二十八条）

第四章 登録建築物エネルギー消費性能判定機関等

第一節 登録建築物エネルギー消費性能判定機関（第二十九―第五十九条）

第二節 登録建築物エネルギー消費性能評価機関（第六十―第七十五条）

第五章 建築物再生可能エネルギー利用促進区域における措置（第七十六―第八十一条）

第六章 雑則（第八十二条・第八十三条）

附則

第一章 建築士の努力義務

第一条 建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律（平成二十七年法律第五十三号。以下「法」という。）第六条第三項の規定により当該建築物のエネルギー消費性能その他建築物のエネルギー消費性能の向上に資する事項について説明を行うとする建築士は、当該建築物の工事が着手される前に、当該説明を行うよう努めなければならない。

第二章 建築士の基準適合義務等

（建築物エネルギー消費性能適合性判定を行うことが比較的容易な特定建築行為）

第二条 法第十一条第一項ただし書の国土交通省令で定める特定建築行為及び法第十二条第二項ただし書の国土交通省令で定める特定建築行為は、次に掲げる建築行為のいずれかに該当するものとする。

一 住宅（複合建築物（建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（平成二十八年経済産業省・国土交通省令第一号。以下「基準省令」という。）第一条第一項第一号に規定する複合建築物をいう。）の住宅部分（同条第三項に規定する住宅部分をいう。）のみの増

築又は改築をする場合における当該住宅部分を含む。以下この号において同じ。）の建築であつて、当該住宅（増築又は改築をする場合にあつては、当該増築又は改築をする住宅の部分）を次に掲げる基準のいずれかに適合させるもの

イ 基準省令第一条第一項第二号イ（二）の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する国土交通大臣が定める基準及び同号ロ（二）の一次エネルギー消費量に関する国土交通大臣が定める基準（同号イただし書の国土交通大臣が定める基準に適合する住宅（ロ）において「気候風土適応住宅」という。）にあつては、同号ロ（二）の一次エネルギー消費量に関する国土交通大臣が定める基準に限る。

ロ 基準省令第十条第二号イ（二）の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する国土交通大臣が定める基準及び同号ロ（二）の一次エネルギー消費量に関する国土交通大臣が定める基準（気候風土適応住宅にあつては、同号ロ（二）の一次エネルギー消費量に関する国土交通大臣が定める基準に限る。）

二 住宅の品質確保の促進等に関する法律施行規則（平成十二年建設省令第二十号）第三条第一項に規定する設計住宅性能評価（以下この号及び次条第四項において「設計住宅性能評価」とい）特定建築行為に係る住宅が建築物エネルギー消費性能基準に適合する住宅と同等以上のエネルギー消費性能を有するものである旨の設計住宅性能評価に限る。）を受けた住宅の新築

三 長期優良住宅の普及の促進に関する法律（平成二十年法律第八十七号）第六条第一項の認定（同法第八条第一項の変更の認定を含む。）又は住宅の品質確保の促進等に関する法律（平成十一年法律第八十一号）第六条の第二第一項の確認（次条第四項において「確認」という。）を受けた住宅の新築

法第十一条第二項後段において準用する同条第一項ただし書の国土交通省令で定める特定建築行為及び法第十二条第三項後段において準用する同条第二項ただし書の国土交通省令で定める特定建築行為は、前項第一号に掲げる建築行為に該当するものとする。

（建築物エネルギー消費性能確保計画に関する書類の様式）

第三条 法第十一条第一項（法第十四条第二項において読み替えて適用する場合を含む。）の規

定により提出する建築物エネルギー消費性能確保計画に関する書類は、別記様式第一による計画書の正本及び副本に、それぞれ次の表の（イ）項及び（ロ）項に掲げる図書（当該建築物エネルギー消費性能確保計画に戸が含まれる場合においては、当該住戸については、同表の（ろ）項に掲げる図書に代えて同表の（は）項に掲げる図書）その他所管行政庁が必要と認める図書を添えたもの（正本に添える図書にあつては、当該図書の設計者の氏名の記載があるものに限り）とする。

（イ）

図書の種類

設計内容説明書

明示すべき事項

建築物（増築又は改築をする場合にあつては、当該増築又は改築をする建築物の部分。以下この表において同じ。）のエネルギー消費性能が建築物エネルギー消費性能基準に適合するものであることの説明

付近見取図

方位、道路及び目標となる地物

配置図

敷地境界線、敷地内における建築物の位置及び申請に係る建築物と他の建築物との別

空気調和設備等及び空気調和設備等以外のエネルギー消費性能の確保に資する建築設備（以下この表及び第十二条第一項の表において「エネルギー消費性能確保設備」という。）の位置

仕様書（仕上げ表を含む）

部材の種類及び寸法

エネルギー消費性能確保設備の種類

（ろ）

各階平面図

縮尺及び方位

間取り、各室の名称、用途及び寸法並びに天井の高さ

壁の位置及び種類

開口部の位置及び構造

エネルギー消費性能確保設備の位置

床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式

用途別床面積

縮尺

外壁及び開口部の位置

エネルギー消費性能確保設備の位置

縮尺

建築物の高さ

外壁及び屋根の構造

軒の高さ並びに軒及びひさしの出

縮尺及び方位

間取り、各室の名称、用途及び寸法並びに天井の高さ

壁の位置及び種類

開口部の位置及び構造

エネルギー消費性能確保設備の位置

床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式

用途別床面積

縮尺

外壁及び開口部の位置

エネルギー消費性能確保設備の位置

縮尺

建築物の高さ

外壁及び屋根の構造

軒の高さ並びに軒及びひさしの出

小屋裏の構造

各階の天井の高さ及び構造

床の高さ及び構造並びに床下及び基礎の構造

縮尺

外壁、開口部、床、屋根その他断熱性を有する部分の材料の種類及び寸法

建築物のエネルギー消費性能に係る計算その他の計算を要する場合における当該計算の内容

熱源機、ポンプ、空気調和機その他の機器の種類、仕様及び数

空気調和設備

表

機器

（ろ）

表

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

（ろ）

- [illegible]

（変更の場合の建築物エネルギー消費性能確保計画に関する書類の様式）

第四条 法第十一条第二項（法第十四条第二項において読み替えて適用する場合を含む。）の規定により提出する変更後の建築物エネルギー消費性能確保計画に関する書類は、別記様式第二による計画書の正本及び副本に、それぞれ前条第一項に規定する図書を添えたもの及び当該計画の変更に係る直前の建築物エネルギー消費性能適合性判定に要した書類（変更に係る部分に限る。）とする。ただし、当該直前の建築物エネルギー消費性能適合性判定を受けた所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関に対して提出を行う場合においては、別記様式第二による計画書の正本及び副本に、それぞれ同項に規定する図書（変更に係る部分に限る。）を添えたものとする。

2 登録建築物エネルギー消費性能判定機関であつて登録住宅性能評価機関であるもの（前条第四項の規定により提出した建築物エネルギー消費性能確保計画の変更に係る直前の建築物エネルギー消費性能適合性判定を受けたものに限る。）に対し、特定建築行為に係る住宅について変更設計住宅性能評価の申請又は変更確認の求めをした場合（当該住宅の設計者の氏名の記載がある設計評価申請添付図書又は確認申請添付図書を提出した場合に限る。）において、法第十四条第二項において読み替えて適用する法第十一条第二項の規定により、当該登録建築物エネルギー消費性能判定機関に当該特定建築行為に係る変更後の建築物エネルギー消費性能確保計画を提出するときは、前項の規定にかかわらず、前条第一項の表の各項に掲げる図書（変更に係る部分に限る。）を前項の計画書に添えることを要しない。この場合において、当該登録住宅性能評価機関に提出した当該設計評価申請添付図書又は当該確認申請添付図書のうち建築物エネルギー消費性能に係るものは、当該計画書の添付図書とみなす。

第五条 法第十一条第二項（法第十四条第二項において読み替えて適用する場合を含む。）の国土交通省令で定める軽微な変更は、建築物のエネルギー消費性能を向上させる変更その他の変更後も建築物エネルギー消費性能確保計画が建築物エネルギー消費性能基準に適合することが明らかなる変更とする。

（所管行政庁が交付する適合判定通知書等の様式等）

第六条 法第十一条第三項の規定による通知書の交付は、次の各号に掲げる場合に応じ、当該各号に定めるものに第三条第一項又は第四条第一項の計画書の副本及びその添付図書（第三条第四項後段又は第四条第二項後段の規定により当該添付図書とみなされるものを除く。）を添えて行うものとする。

一 建築物エネルギー消費性能確保計画が建築物エネルギー消費性能基準に適合するものであると判定された場合 別記様式第三による適合判定通知書

二 建築物エネルギー消費性能確保計画が建築物エネルギー消費性能基準に適合しないものであると判定された場合 別記様式第四による通知書

2 法第十一条第四項の規定による同条第三項の期間を延長する旨及びその延長する期間並びにその期間を延長する理由を記載した通知書の交付は、別記様式第五により行うものとする。

3 法第十一条第五項の規定による適合するかどうかを決定することができない旨及びその理由を記載した通知書の交付は、別記様式第六により行うものとする。

（登録建築物エネルギー消費性能判定機関が交付する適合判定通知書等の様式等）

第七条 法第十四条第三項において読み替えて適用する法第十一条第三項の規定による通知書の交付は、次の各号に掲げる場合に応じ、当該各号に定めるものに、第三条第一項又は第四条第一項の計画書の副本及びその添付図書（第三条第四項後段又は第四条第二項後段の規定により当該添付図書とみなされるものを除く。）を添えて行わなければならない。

一 建築物エネルギー消費性能確保計画が建築物エネルギー消費性能基準に適合するものであると判定された場合 別記様式第七による適合判定通知書

二 建築物エネルギー消費性能確保計画が建築物エネルギー消費性能基準に適合しないものであると判定された場合 別記様式第八による通知書

2 法第十四条第二項において読み替えて適用する法第十一条第四項の規定による同条第三項の期間を延長する旨及びその延長する期間並びにその期間を延長する理由を記載した通知書の交付は、別記様式第九により行うものとする。

3 法第十四条第二項において読み替えて適用する法第十一条第五項の規定による適合するかどうかを決定することができない旨及びその理由を記載した通知書の交付は、別記様式第十により行うものとする。

4 前三項に規定する図書及び書類の交付については、登録建築物エネルギー消費性能判定機関の使用に係る電子計算機（入出力装置を含む。以下同じ。）と交付を受ける者の使用に係る電子計算機とを電気通信回線で接続した電子情報処理組織の使用又は磁気ディスク（これに準ずる方法により一定の事項を確実に記録しておくことができる物を含む。以下同じ。）の交付により行うことができる。

（適合判定通知書又はその写しの提出）

第八条 法第十一条第六項の規定による適合判定通知書又はその写しの提出は、当該適合判定通知書又はその写しに第三条第一項若しくは第四条第一項の計画書の副本又はその写しを添えて行うものとする。ただし、次の各号に掲げる場合にあつては、当該各号に定める書類の提出をもって法第十一条第六項に規定する適合判定通知書又はその写しを提出したものとみなす。

一 法第十八条第二項の規定により適合判定通知書の交付を受けたものとみなして、法第十一条第六項の規定を適用する場合 第十六条第一項の認定書の写し

二 法第三十条第八項の規定により適合判定通知書の交付を受けたものとみなして、法第十条第六項の規定を適用する場合 第二十四条第二項（第二十七条において読み替えて準用する場合を含む。）の通知書又はその写し及び第二十条第一項若しくは第二十六条の申請書の副本又はその写し

三 都市の低炭素化の促進に関する法律（平成二十四年法律第八十四号）第十条第九項又は同法第五十四条第八項の規定により、適合判定通知書の交付を受けたものとみなして、法第十一条第六項の規定を適用する場合 都市の低炭素化の促進に関する法律施行規則（平成二十四年国土交通省令第八十六号）第五条第二項（同令第八条において読み替えて準用する場合を含む。）の通知書若しくはその写し及び同令第三条若しくは同令第七条の申請書の副本若しくはその写し又は同令第四十三条第二項（同令第四十六条において読み替えて準用する場合を含む。）の通知書若しくはその写し

その写し及び同令第四十一条第一項若しくは同令第四十五条の申請書の副本若しくはその写し

（国等に対する建築物エネルギー消費性能適合性判定に関する手続の特例）

第九条 第三条及び第四条の規定は、法第十二条第二項及び第三項（これらの規定を法第十四条第二項において読み替えて適用する場合を含む。）の規定による通知について準用する。この場合において、第三条第一項中「別記様式第一」とあるのは「別記様式第十一」と、同条中「計画書」とあるのは「通知書」と、第四条第一項中「別記様式第二」とあるのは「別記様式第十二」と、同条中「計画書」とあるのは「通知書」と読み替えるものとする。

2 第五条の規定は、法第十二条第三項（法第十四条第二項において読み替えて適用する場合を含む。）の国土交通省令で定める軽微な変更について準用する。

3 第六条の規定は、法第十二条第四項から第六項までの規定による通知書の交付について準用する。この場合において、第六条第一項中「第三条第一項又は第四条第一項」とあるのは「第九条第一項において読み替えて準用する第三項第一項又は第四条第一項」と、「計画書」とあるのは「通知書」と、「第三条第四項後段又は第四条第二項後段」とあるのは「第九条第一項において読み替えて準用する第三項第四項後段又は第四条第二項後段」と、同項第一号中「別記様式第三」とあるのは「別記様式第十三」と、同項第二号中「別記様式第四」とあるのは「別記様式第十四」と、同条第二項中「別記様式第五」とあるのは「別記様式第十五」と、同条第三項中「別記様式第六」とあるのは「別記様式第十六」と読み替えるものとする。

4 第七条の規定は、法第十四条第二項において読み替えて適用する法第十二条第四項から第六項までの規定による通知書の交付について準用する。この場合において、第七条第一項中「第三条第一項又は第四条第一項」とあるのは「第九条第一項において読み替えて準用する第三項第一項又は第四条第一項」と、「計画書」とあるのは「通知書」と、「第三条第四項後段又は第四条第二項後段」とあるのは「第九条第一項において読み替えて準用する第三項第四項後段又は第四条第二項後段」と、同項第一号中「別記様式第七」とあるのは「別記様式第十七」と

と、同項第二号中「別記様式第八」とあるのは「別記様式第十八」と、同条第二項中「別記様式第九」とあるのは「別記様式第十九」と、同条第三項中「別記様式第十」とあるのは「別記様式第二十」と読み替えるものとする。

5 前条の規定は、法第十二条第七項の規定による適合判定通知書又はその写しの提出について準用する。この場合において、前条中「第三条第一項若しくは第四条第一項」とあるのは、「第九条第一項において読み替えて準用する第三条第一項若しくは第四条第一項」と、「計画書」とあるのは「通知書」と読み替えるものとする。

(委任の公示)

第十条 法第十四条第一項の規定により登録建築物エネルギー消費性能判定機関に建築物エネルギー消費性能適合性判定の全部又は一部を行わせることとした所管行政庁（次条において「委任所管行政庁」という。）は、登録建築物エネルギー消費性能判定機関に行わせることとした建築物エネルギー消費性能適合性判定の業務（以下「判定の業務」という。）及び登録建築物エネルギー消費性能判定機関の当該判定の業務の開始の日を公示しなければならない。

（建築物エネルギー消費性能適合性判定の委任の解除）

第十一条 委任所管行政庁は、登録建築物エネルギー消費性能判定機関に建築物エネルギー消費性能適合性判定の全部又は一部を行わせないこととするときは、委任の解除の日を六月前までに、その旨及び解除の日付を公示しなければならない。

第十二条 法第十五条第二項の立入検査をする職員は、別記様式第二十一によるものとする。

（軽微な変更に関する証明書の交付）

第十三条 建築基準法（昭和二十五年法律第二百一号）第七條第五項、同法第七條の二第五項又は同法第十八条第十八項の規定による検査済証の交付を受けようとする者は、その計画の変更が第五条（第九条第二項において準用する場合を含む。）の軽微な変更に該当していることを証する書面の交付を所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関に求めることができる。

（特殊の構造又は設備を用いる建築物の認定の申請）

第十四条 法第十六条第一項の申請をしようとする者は、別記様式第二十二による申請書に第十

八条第一項の評価書を添えて、これを国土交通大臣に提出しなければならない。

(申請書の記載事項)

第十五条 法第十六条第二項の国土交通省令で定める事項は、次に掲げるものとする。

- 一 法第十六条第一項の申請をしようとする者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名
- 二 特殊の構造又は設備を用いる建築物の名称及び所在地
- 三 特殊の構造又は設備を用いる建築物の概要（認定書の交付等）

第十六条 国土交通大臣は、法第十六条第三項の認定をしたときは、別記様式第二十三による認定書を申請者に交付しなければならない。

2 国土交通大臣は、法第十六条第三項の認定をしないときは、別記様式第二十四による通知書を申請者に交付しなければならない。

(評価の申請)

第十七条 法第十七条第一項の評価（以下「評価」という。）の申請をしようとする者は、別記様式第二十五による申請書に次に掲げる書類を添えて、これを登録建築物エネルギー消費性能評価機関に提出しなければならない。

- 一 特殊の構造又は設備を用いる建築物の概要を記載した書類
- 二 前号に掲げるもののほか、平面図、立面図、断面図及び実験の結果その他の評価を実施するために必要な事項を記載した図書（評価書の交付等）

第十八条 登録建築物エネルギー消費性能評価機関は、評価を行ったときは、別記様式第二十六による評価書（以下「評価書」という。）を申請者に交付しなければならない。

(評価書の交付等)

2 評価書の交付を受けた者は、評価書を滅失し、汚損し、又は破損したときは、評価書の再交付を申請することができる。

3 評価書の交付については、登録建築物エネルギー消費性能評価機関の使用に係る電子計算機と交付を受ける者の使用に係る電子計算機とを電気通信回線で接続した電子情報処理組織の使用又は磁気ディスクの交付によることができる。

（特殊の構造又は設備を用いる建築物の認定の手数料）

第十九条 法第十九条の規定による手数料の納付は、当該手数料の金額に相当する額の収入印紙

をもって行うものとする。ただし、印紙をもって納め難い事由があるときは、現金をもってすることができ。

2 法第十九条の国土交通省令で定める手数料の額は、申請一件につき二万円とする。

第三章 建築物エネルギー消費性能向上計画の認定等

（建築物エネルギー消費性能向上計画の認定の申請）

第二十条 法第二十九条第一項の規定により建築物エネルギー消費性能向上計画の認定の申請をしようとする者は、別記様式第二十七による申請書の正本及び副本に、それぞれ次の表の（イ）項及び（ロ）項に掲げる図書（当該建築物エネルギー消費性能向上計画に住戸が含まれる場合においては、当該住戸については、同表の（ロ）項に掲げる図書に代えて同表の（ハ）項に掲げる図書）その他所管行政庁が必要と認める図書（法第十一条第一項の建築物エネルギー消費性能適合性判定を受けなければならない場合の正本に添える図書にあつては、当該図書の設計者の氏名の記載があるものに限り）を添えて、これらを所管行政庁に提出しなければならない。

(イ)	図書の種類	明示すべき事項
設計内容説明書	図書の種類	建築物のエネルギー消費性能が法第三十条第一項第一号に掲げる基準に適合するものであることの説明
	付近見取図	方位、道路及び目標となる地物
配置図	敷地境界線、敷地内における建築物の位置及び申請に係る建築物と他の建築物との別	縮尺及び方位
	空気調和設備等及び空気調和設備等以外のエネルギー消費性能の一層の向上に資する建築設備（以下この表において「エネルギー消費性能向上計画」という。）	縮尺

仕様書（仕上げ表を含む。）	位置	上設備」という。）の
各階平面図	部材の種類及び寸法	エネルギー消費性能向上設備の種類
床面積求積図	縮尺及び方位	間取り、各室の名称、用途及び寸法並びに天井の高さ
用途別床面積表	縮尺	壁の位置及び種類、開口部の位置及び構造
立面図	縮尺	エネルギー消費性能向上設備の位置
断面図又は矩計図	縮尺	エネルギー消費性能向上設備の位置
各部詳細図	縮尺	建築物の高さ
各種計算書	縮尺	外壁及び屋根の構造
各種計算書	縮尺	軒の高さ並びに軒及びひさしの出
各種計算書	縮尺	小屋裏の構造
各種計算書	縮尺	各階の天井の高さ及び構造
各種計算書	縮尺	床の高さ及び構造並びに床下及び基礎の構造
各種計算書	縮尺	外壁、開口部、床、屋根その他断熱性を有する部分の材料の種類及び寸法
各種計算書	縮尺	建築物のエネルギー消費性能に係る計算その他の計算を要する

ことに關する当該他の建築物の建築主等の同意を証する書面

(建築物エネルギー消費性能向上計画の認定の通知)

第二十四条 所管行政庁は、法第三十条第一項の認定をしたときは、速やかに、その旨(同条第五項の場合においては、同条第四項において準用する建築基準法第十八条第三項の規定による確認済証の交付を受けた旨を含む。)を申請者に通知するものとする。

2 前項の通知は、別記様式第二十八による通知書に第二十条第一項の申請書の副本(法第三十条第五項の場合にあつては、第二十条第一項の申請書の副本及び前項の確認済証に添えられた建築基準法施行規則(昭和二十五年建設省令第四十号)第一条の三の申請書の副本)及びその添付図書を添えて行うものとする。

(建築物エネルギー消費性能向上計画の軽微な変更)

第二十五条 法第三十一条第一項の国土交通省令で定める軽微な変更は、次に掲げるものとする。

一 エネルギー消費性能の一層の向上のための建築物の新築等に関する工事の着手予定時期又は完了予定時期の六月以内の変更

二 前号に掲げるもののほか、建築物のエネルギー消費性能を一層向上させる変更その他の変更後も建築物エネルギー消費性能向上計画が法第三十条第一項各号に掲げる基準に適合することが明らかな変更(同条第二項の規定により建築基準関係規定に適合するかどうかの審査を受けるよう申し出た場合には、建築基準法第六条第一項(同法第八十七条第一項において準用する場合を含む。)に規定する軽微な変更であるものに限る。)

(建築物エネルギー消費性能向上計画の変更の認定の申請)

第二十六条 法第三十一条第一項の変更の認定の申請をしようとする者は、別記様式第二十九による申請書の正本及び副本に、それぞれ第二十条第一項に規定する図書(法第二十九条第三項の規定により建築物エネルギー消費性能向上計画に同項各号に掲げる事項を記載した場合にあつては、第二十三条第二項各号に掲げる図書を含む。)のうち変更に係るものを添えて、これを所管行政庁に提出しなければならない。この場合において、第二十条第一項の表中「法

第三十条第一項第一号」とあるのは、「法第三十条第二項において準用する法第三十条第一項第一号」とする。

(建築物エネルギー消費性能向上計画の変更の認定の通知)

第二十七条 第二十四条の規定は、法第三十一条第一項の変更の認定について準用する。この場合において、第二十四条第一項中「同条第五項」とあるのは「法第三十一条第二項において準用する法第三十条第五項」と、「同条第四項」とあるのは「法第三十一条第二項において準用する法第三十条第四項」と、同条第二項中「別記様式第二十八」とあるのは「別記様式第三十」と、「法第三十条第五項」とあるのは「法第三十一条第二項において準用する法第三十条第五項」と読み替えるものとする。

(軽微な変更に関する証明書の交付)

第二十八条 法第三十一条第一項の建築物エネルギー消費性能適合性判定を受けなければならない建築物の建築に係る建築基準法第七十五条、同法第七條の二第五項又は同法第十八条第十八項の規定による検査済証の交付を受けようとする者は、その計画の変更が第二十五条の軽微な変更に係るに該当していることを証する書面の交付を所管行政庁に求めることができる。

第四章 登録建築物エネルギー消費性能判定機関等

第一節 登録建築物エネルギー消費性能判定機関

(登録建築物エネルギー消費性能判定機関に係る登録の申請)

第二十九条 法第三十六条に規定する登録を受けようとする者は、別記様式第三十一による申請書に次に掲げる書類を添えて、これを国土交通大臣に提出しなければならない。

一 定款及び登記事項証明書

二 申請の日の属する事業年度の前事業年度における財産目録及び貸借対照表。ただし、申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録とする。

三 申請に係る意思の決定を証する書類

四 申請者(法人にあつては、その役員(持分会社(会社法(平成十七年法律第八十六号)第五百七十五条第一項に規定する持分会社をいう。)にあつては、業務を執行する社員(以下同じ。))の氏名及び略歴(申請者が建築

物関連事業者(法第三十八条第一項第二号に規定する建築物関連事業者をいう。以下この号において同じ。))の役員又は職員(過去二年間に当該建築物関連事業者の役員又は職員であつた者を含む。)である場合にあつては、その旨を含む。第六十条第四号において同じ。)を記載した書類

五 主要な株主の構成を記載した書類

六 組織及び運営に関する事項(判定の業務以外の業務を行っている場合にあつては、当該業務の種類及び概要を含む。)を記載した書類

七 申請者が法第三十七条第一号及び第二号に掲げる者に該当しない旨の市町村の長の証明書

八 申請者が法第三十七条第三号から第六号までに該当しない旨を誓約する書面

九 別記様式第三十二による判定の業務の計画棟数を記載した書類

十 判定の業務を行う部門の専任の管理者の氏名及び略歴を記載した書類

十一 適合性判定員となるべき者の氏名及び略歴を記載した書類並びに当該者が第三十六条各号のいずれかに該当する者であることを証する書類

十二 その他参考となる事項を記載した書類(心身の故障により判定の業務を適正に行うことができない者)

第三十条 法第三十七条第五号の国土交通省令で定める者は、精神の機能の障害により判定の業務を適正に行うに当たつて必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者とする。

(登録建築物エネルギー消費性能判定機関登録簿の記載事項)

第三十一条 法第三十八条第二項第五号の国土交通省令で定める事項は、次に掲げるものとする。

一 登録建築物エネルギー消費性能判定機関が法人である場合は、役員の氏名

二 判定の業務を行う部門の専任の管理者の氏名

三 登録建築物エネルギー消費性能判定機関が判定の業務を行う区域

(公示事項)

第三十二条 法第三十九条第一項の国土交通省令で定める事項は、前条各号に掲げる事項とする。

(登録建築物エネルギー消費性能判定機関に係る事項の変更の届出)

第三十三条 登録建築物エネルギー消費性能判定機関は、法第三十九条第二項の規定により法第三十八条第二項第二号から第五号までに掲げる事項を変更をしようとするときは、別記様式第三十三による届出書に第二十九条各号に掲げる書類のうち変更に係るものを添えて、これを国土交通大臣に提出しなければならない。同条第二号ただし書の規定は、この場合について準用する。

(登録建築物エネルギー消費性能判定機関に係る登録の更新)

第三十四条 登録建築物エネルギー消費性能判定機関は、法第四十条第一項の登録の更新を受けようとするときは、別記様式第三十四による申請書に第二十九条各号に掲げる書類を添えて、これを国土交通大臣に提出しなければならない。同条第二号ただし書の規定は、この場合について準用する。

2 第三十条及び第三十一条の規定は、登録建築物エネルギー消費性能判定機関が登録の更新を行う場合について準用する。

(承継の届出)

第三十五条 法第四十一条第二項の規定による登録建築物エネルギー消費性能判定機関の地位の承継の届出をしようとする者は、別記様式第三十五による届出書に次に掲げる書類を添えて、これを国土交通大臣に提出しなければならない。

一 法第四十一条第一項の規定により登録建築物エネルギー消費性能判定機関の事業の全部を譲り受けて登録建築物エネルギー消費性能判定機関の地位を承継した者にあつては、別記様式第三十六による事業譲渡証明書及び事業の全部の譲渡しがあつたことを証する書面

二 法第四十一条第一項の規定により登録建築物エネルギー消費性能判定機関の地位を承継した相続人であつて、二以上の相続人の全員の同意により選定された者にあつては、別記様式第三十七による事業相続同意証明書及び戸籍謄本

三 法第四十一条第一項の規定により登録建築物エネルギー消費性能判定機関の地位を承継した相続人であつて、前号の相続人以外の者にあつては、別記様式第三十八による事業相続証明書及び戸籍謄本

2 前三条の規定は、前項の登録の更新の場合について準用する。

(講習事務の実施に係る義務)

第四十一条 講習実施機関は、公正に、かつ、第三十九条第一号及び第二号に掲げる要件並びに次に掲げる基準に適合する方法により講習事務を行わなければならない。

一 第三十六条第一号の表の下欄に掲げる者のいずれかに該当する者であることを受講資格とすること。

二 登録適合性判定員講習は、講義及び修了審査により行うこと。

三 講義は、次に掲げる科目についてそれぞれ次に定める時間以上行うこと。

イ 法の概要 六十分

ロ 建築物エネルギー消費性能適合性判定の方法 百五十分

ハ 例題演習 六十分

四 講義は、前号イからハまでに掲げる科目に応じ、国土交通大臣が定める事項を含む適切な内容の教材を用いて行うこと。

五 講師は、講義の内容に関する受講者の質問に対し、講義中に適切に応答すること。

六 修了審査は、講義の終了後に行い、適合性判定員に必要な建築に関する専門的知識及び技術を修得したかどうかを判定できるものであること。

七 登録適合性判定員講習を実施する日時、場所その他の登録適合性判定員講習の実施に必要な事項を公示すること。

八 不正な受講を防止するための措置を講じること。

九 終了した修了審査の問題及び当該修了審査の合格基準を公表すること。

十 修了審査に合格した者に対し、別記様式第四十による修了証明書(第四十三条第八号並びに第四十九条第一号第五号及び第四項第四号において「修了証明書」という。)を交付すること。

(登録事項の変更の届出)

第四十二条 講習実施機関は、第三十九条第二号第二号から第四号までに掲げる事項を変更しようとするときは、変更しようとする日の二週間前までに、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。

(講習事務規程)

第四十三条 講習実施機関は、次に掲げる事項を記載した講習事務に関する規程を定め、講習事

務の開始前に、国土交通大臣に届け出なければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。

一 講習事務を行う時間及び休日に関する事項

二 講習事務を行う事務所の所在地及び登録適合性判定員講習の実施場所に関する事項

三 登録適合性判定員講習の受講の申込みに関する事項

四 登録適合性判定員講習に関する料金及びその収納の方法に関する事項

五 登録適合性判定員講習の日程、公示方法その他の登録適合性判定員講習の実施の方法に関する事項

六 修了審査の問題の作成及び修了審査の可否判定の方法に関する事項

七 終了した登録適合性判定員講習の修了審査の問題及び当該修了審査の合格基準の公表に関する事項

八 修了証明書の交付及び再交付に関する事項

九 講習事務に関する秘密の保持に関する事項

十 財務諸表等(法第四十六条第一項に規定する財務諸表等という。以下同じ。)の備付け及び財務諸表等に係る第四十五条第二号各号の請求の受付に関する事項

十一 第四十九条第一項の帳簿その他の講習事務に関する書類の管理に関する事項

十二 講習事務に関する公正の確保に関する事項

十三 不正受講者の処分に関する事項

十四 その他講習事務に関し必要な事項

(講習事務の休廃止)

第四十四条 講習実施機関は、講習事務の全部又は一部を休止し、又は廃止しようとするときは、あらかじめ、次に掲げる事項を記載した届出書を国土交通大臣に提出しなければならない。

一 休止し、又は廃止しようとする登録適合性判定員講習の範囲

二 休止し、又は廃止しようとする年月日及び休止しようとする場合にあつては、その期間

三 休止又は廃止の理由

(財務諸表等の備付け及び閲覧等)

第四十五条 講習実施機関は、毎事業年度経過後三月以内に、その事業年度の財務諸表等を作成し、五年間事務所に備えて置かなければならない。

2 登録適合性判定員講習を受講しようとする者その他の利害関係人は、講習実施機関の業務時

間内は、いつでも、次に掲げる請求をすることができる。ただし、第二号又は第四号の請求をするには、講習実施機関の定めた費用を支払わなければならない。

一 財務諸表等が書面をもって作成されているときは、当該書面の閲覧又は謄写の請求

二 前号の書面の謄本又は抄本の請求

三 財務諸表等が電磁的記録(法第四十六条第一項に規定する電磁的記録という。以下同じ。)をもって作成されているときは、当該電磁的記録に記録された事項を紙面又は出力装置の映像面に表示したものの閲覧又は謄写の請求

四 前号の電磁的記録に記録された事項を電磁的方法であつて、次に掲げるもののうち講習実施機関が定めるものにより提供することの請求又は当該事項を記載した書面の交付の請求

イ 講習実施機関の使用に係る電子計算機と当該請求をした者(以下この条において「請求者」という。)の使用に係る電子計算機とを電気通信回線で接続した電子情報処理組織を使用する方法であつて、当該電気通信回線を通じて情報が送信され、請求者の使用に係る電子計算機に備えられたファイルに当該情報が記録されるもの

ロ 磁気ディスクをもって調製するファイルに情報を記録したものを請求者に交付する方法

3 前項第四号イ又はロに掲げる方法は、請求者がファイルへの記録を出力することによる書面を作成することができるものでなければならない。

(適合命令)

第四十六条 国土交通大臣は、講習実施機関が第三十九条第一号各号のいずれかに適合しなくなったと認めるときは、その講習実施機関に対し、これらの規定に適合するため必要な措置をとるべきことを命ずることができる。

(改善命令)

第四十七条 国土交通大臣は、講習実施機関が第四十一条の規定に違反しているとき

は、その講習実施機関に対し、同条の規定による講習事務を行うべきこと又は講習事務の方法その他の業務の方法の改善に関し必要な措置をとるべきことを命ずることができる。

(登録の取消し等)

第四十八条 国土交通大臣は、講習実施機関が次の各号のいずれかに該当するときは、当該講習

実施機関に係る第三十六条第一号の登録を取り消し、又は期間を定めて講習事務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

一 第三十八条第一号又は第三号に該当するに至つたとき。

二 第四十二条から第四十四条まで、第四十五条第一項又は次条の規定に違反したとき。

三 正当な理由がないのに第四十五条第二号各号の請求を拒んだとき。

四 前二条の規定による命令に違反したとき。

五 第五十条の規定による報告をせず、又は虚偽の報告をしたとき。

六 不正な手段により第三十六条第一号の登録を受けたとき。

(帳簿の備付け等)

第四十九条 講習実施機関は、次に掲げる事項を記載した帳簿を備えなければならない。

一 登録適合性判定員講習の実施年月日

二 登録適合性判定員講習の実施場所

三 講義を行った講師の氏名並びに講義において担当した科目及びその時間

四 受講者の氏名、生年月日及び住所

五 登録適合性判定員講習を修了した者にあつては、前号に掲げる事項のほか、修了証明書の交付の年月日及び証明書番号

2 前項各号に掲げる事項が、電子計算機に備えられたファイル又は磁気ディスクに記録され、必要に応じ講習実施機関において電子計算機その他の機器を用いて明確に紙面に表示されるときは、当該記録をもって同項の帳簿への記載に代えることができる。

3 講習実施機関は、第一項の帳簿(前項の規定による記録が行われた同項のファイル又は磁気ディスクを含む。)を、講習事務の全部を廃止するまで保存しなければならない。

4 講習実施機関は、次に掲げる書類を備え、登録適合性判定員講習を実施した日から三年間保存しなければならない。

一 登録適合性判定員講習の受講申込書及びその添付書類

二 講義に用いた教材

三 終了した修了審査の問題及び答案用紙

四 修了証明書の写し

(報告の徴収)

第五十条 国土交通大臣は、講習事務の適切な実施を確保するため必要があると認めるときは、

講習実施機関に対し、講習事務の状況に関し必要な報告を求めることができる。

(公示)

第五十一条 国土交通大臣は、次に掲げる場合には、その旨を公示しなければならない。

- 一 第三十六条第一号の登録をしたとき。
- 二 第四十二条の規定による届出があつたとき。
- 三 第四十四条の規定による届出があつたとき。

四 第四十八条の規定により第三十六条第一号の登録を取り消し、又は講習事務の停止を命じたとき。

(判定の業務の実施基準)

第五十二条 法第四十四条第二項の国土交通省令で定める基準は、次に掲げるとおりとする。

- 一 建築物エネルギー消費性能適合性判定は、適合性判定員(第三十六条第一号に定める者にあつては、同号の表の上欄に掲げる建築物エネルギー消費性能適合性判定を行う建築物(登録適合性判定員講習を修了していない者にあつては、住宅に限る。)の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる者のいずれかに該当する者に限る。)が、建築物エネルギー消費性能確保計画に関する書類をもって行うこと。

二 登録建築物エネルギー消費性能判定機関が建築物エネルギー消費性能確保計画の提出を自ら行った場合その他の場合であつて、判定の業務の公正な実施に支障を及ぼすおそれがあるものとして国土交通大臣が定める場合においては、建築物エネルギー消費性能適合性判定を行わないこと。

三 判定の業務を行う部門の専任の管理者は、登録建築物エネルギー消費性能判定機関の役員又は当該部門を管理する上で必要な権限を有する者であること。

四 登録建築物エネルギー消費性能判定機関は、適合性判定員の資質の向上のために、その研修の機会を確保すること。

五 判定の業務に関し支払うことのある損害賠償のため保険契約を締結していること。

(判定業務規程)

第五十三条 登録建築物エネルギー消費性能判定機関は、法第四十五条第一項の規定による判定業務規程の届出をしようとするときは、別記様式第四十一による届出書を国土交通大臣に提出しなければならない。

2 法第四十五条第二項の国土交通省令で定める事項は、次に掲げるものとする。

- 一 判定の業務を行う時間及び休日に関する事項
- 二 事務所の所在地及びその事務所が判定の業務を行う区域に関する事項
- 三 建築物エネルギー消費性能適合性判定を行う建築物エネルギー消費性能確保計画に係る建築物の区分その他判定の業務の範囲に関する事項

四 判定の業務の実施の方法に関する事項

五 判定の業務に関する料金及びその収納の方法に関する事項

六 適合性判定員の選任及び解任に関する事項

七 判定の業務に関する秘密の保持に関する事項

八 適合性判定員の配置及び教育に関する事項

九 判定の業務の実施及び管理の体制に関する事項

十 財務諸表等の備付け及び財務諸表等に係る法第四十六条第二項各号の請求の受付に関する事項

十一 法第四十七条第一項の帳簿その他の判定の業務に関する書類の管理に関する事項

十二 判定の業務に関する公正の確保に関する事項

十三 その他判定の業務の実施に関し必要な事項

4 登録建築物エネルギー消費性能判定機関は、判定業務規程を判定の業務を行う全ての事務所で業務時間内に公衆に閲覧させるとともに、インターネットを利用して閲覧に供する方法により公表するものとする。

(電磁的記録に記録された事項を表示する方法)

第五十四条 法第四十六条第二項第三号の国土交通省令で定める方法は、当該電磁的記録に記録された事項を紙面又は出力装置の映像面に表示する方法とする。

(電磁的記録に記録された事項を提供するための電磁的方法)

第五十五条 法第四十六条第二項第四号の国土交通省令で定める電磁的方法は、次に掲げるもの

のうち、登録建築物エネルギー消費性能判定機関が定めるものとする。

- 一 登録建築物エネルギー消費性能判定機関の使用に係る電子計算機と法第四十六条第二項第四号に掲げる請求をした者(以下この条において「請求者」という。)の使用に係る電子計算機とを電気通信回線で接続した電子情報処理組織を使用する方法であつて、当該電気通信回線を通じて情報が送信され、請求者の使用に係る電子計算機に備えられたファイルに当該情報が記録されるもの
- 二 磁気ディスクをもって調製するファイルに情報を記録したものを請求者に交付する方法

2 前項各号に掲げる方法は、請求者がファイルへの記録を出力することによる書面を作成できるものでなければならない。

(帳簿)

第五十六条 法第四十七条第一項の判定の業務に関する事項で国土交通省令で定めるものは、次に掲げるものとする。

- 一 別記様式第一による計画書の第二面及び第三面、別記様式第二による計画書の第二面及び第三面、別記様式第十一による通知書の第二面及び第三面並びに別記様式第十二による通知書の第二面及び第三面に記載すべき事項
- 二 法第十四条第二項において読み替えて適用する法第十一条第一項又は第二項の規定による建築物エネルギー消費性能確保計画の提出を受けた年月日及び法第十四条第二項において読み替えて適用する法第十二条第二項又は第三項の規定による通知を受けた年月日
- 三 建築物エネルギー消費性能適合性判定を実施した適合性判定員の氏名

四 建築物エネルギー消費性能適合性判定の結果

五 建築物エネルギー消費性能適合性判定の結果を記載した通知書の番号及びこれを交付した年月日

六 判定の業務に関する料金の額

2 前項各号に掲げる事項が、電子計算機に備えられたファイル又は磁気ディスクに記録され、必要に応じ登録建築物エネルギー消費性能判定機関において電子計算機その他の機器を用いて明確に紙面に表示されるときは、当該記録をもって法第四十七条第一項の帳簿(次項及び第五十九条第一項第二号において「帳簿」という。)への記載に代えることができる。

3 登録建築物エネルギー消費性能判定機関は、帳簿(前項の規定による記録が行われた同項のファイル又は磁気ディスクを含む。第五十九条第一項第二号において同じ。)を、判定の業務の全部を廃止するまで保存しなければならない。

(書類の保存)

第五十七条 法第四十七条第二項の判定の業務に関する書類で国土交通省令で定めるものは、第三項第一項及び第四項第一項(これらの規定を第三項第一項において読み替えて準用する場合を含む。)に規定する書類(第三項第四項後段又は第四項第二項後段(これらの規定を第三項第一項において読み替えて準用する場合を含む。))の規定により当該書類とみなされるものを含む。)とする。

2 前項の書類が、電子計算機に備えられたファイル又は磁気ディスクに記録され、必要に応じ登録建築物エネルギー消費性能判定機関において電子計算機その他の機器を用いて明確に紙面に表示されるときは、当該ファイル又は磁気ディスクをもって同項の書類に代えることができる。

3 登録建築物エネルギー消費性能判定機関は、第一項の書類(前項の規定による記録が行われた同項のファイル又は磁気ディスクを含む。第五十九条第一項第二号において「書類」という。)を、法第十四条第三項において読み替えて適用する法第十一条第三項又は法第十二条第四項の規定による通知書を交付した日から十五年間、保存しなければならない。

(判定の業務の廃止の届出)

第五十八条 登録建築物エネルギー消費性能判定機関は、法第五十一条第一項の規定により判定の業務の全部又は一部を休止し、又は廃止しようとするときは、別記様式第四十三による届出書を国土交通大臣に提出しなければならない。

(判定の業務の引継ぎ等)

第五十九条 登録建築物エネルギー消費性能判定機関(国土交通大臣が法第五十二条第一項又は第二項の規定により登録建築物エネルギー消費性能判定機関の登録を取り消した場合にあつては、当該登録建築物エネルギー消費性能判定機関であつた者。次項において同じ。)は、法第五十一条第一項の規定により判定の業務の全部を廃止したとき又は法第五十二条第一項又は第

二項の規定により登録を取り消されたときは、次に掲げる事項を行わなければならない。

一 判定の業務を、その業務区域を所轄する所管行政庁（以下「所轄所管行政庁」という。）に引き継ぐこと。

二 帳簿を国土交通大臣に、書類を所轄所管行政庁に引き継ぐこと。

三 その他国土交通大臣又は所轄所管行政庁が必要と認める事項

2 登録建築物エネルギー消費性能判定機関は、前項第二号の規定により書類を引き継ぐこととするときは、あらかじめ、引継ぎの方法、時期その他の事項について、所轄所管行政庁に協議しなければならない。

第二節 登録建築物エネルギー消費性能評価機関

（登録建築物エネルギー消費性能評価機関に係る登録の申請）

第六十条 法第五十三条第一項に規定する登録を受けようとする者は、別記様式第四十四による申請書に次に掲げる書類を添えて、これを国土交通大臣に提出しなければならない。

一 定款及び登記事項証明書

二 申請の日の属する事業年度の前事業年度における財産目録及び貸借対照表。ただし、申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録とする。

三 申請に係る意思の決定を証する書類

四 申請者（法人にあつては、その役員）の氏名及び略歴を記載した書類

五 主要な株主の構成を記載した書類

六 組織及び運営に関する事項（法第十七条第一項の評価の業務以外の業務を行っている場合にあつては、当該業務の種類及び概要を含む。）を記載した書類

七 申請者が法第三十七条第一号及び第二号に掲げる者に該当しない旨の市町村の長の証明書

八 申請者が法第三十七条第三号及び法第五十四条第二号から第四号までに該当しない旨を誓約する書面

九 評価の業務を行う部門の専任の管理者の氏名及び略歴を記載した書類

十 評価員となるべき者の氏名及び略歴を記載した書類並びに当該者が法第五十六条各号のいづれかに該当する者であることを証する書類

十一 その他参考となる事項を記載した書類（心身の故障により評価の業務を適正に行うことができない者）

第六十一条 法第五十四条第三号の国土交通省令で定める者は、精神の機能の障害により評価の業務を適正に行うに当たつて必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者とする。

（登録建築物エネルギー消費性能評価機関登録簿の記載事項）

第六十二条 法第五十五条第二項第五号の国土交通省令で定める事項は、次に掲げるものとする。

一 登録建築物エネルギー消費性能評価機関が法人である場合は、役員の名

二 評価の業務を行う部門の専任の管理者の氏名

三 登録建築物エネルギー消費性能評価機関が評価の業務を行う区域

（公示事項）

第六十三条 法第五十三条第二項において読み替えて準用する法第三十九条第一項の国土交通省令で定める事項は、前条各号に掲げる事項とする。

（登録建築物エネルギー消費性能評価機関に係る事項の変更の届出）

第六十四条 登録建築物エネルギー消費性能評価機関は、法第五十三条第二項において読み替えて準用する法第三十九条第二項の規定により法第五十五条第二項第二号から第五号までに掲げる事項を変更しようとするときは、別記様式第四十五による届出書に第六十条各号に掲げる書類のうち変更に係るものを添えて、これを国土交通大臣に提出しなければならない。同条第二号ただし書の規定は、この場合について準用する。

（登録建築物エネルギー消費性能評価機関に係る登録の更新）

第六十五条 登録建築物エネルギー消費性能評価機関は、法第五十三条第二項において準用する法第四十条第一項の登録の更新を受けようとするときは、別記様式第四十六による申請書に第六十条各号に掲げる書類を添えて、これを国土交通大臣に提出しなければならない。同条第二号ただし書の規定は、この場合について準用する。

2 第六十一条及び第六十二条の規定は、登録建築物エネルギー消費性能評価機関が登録の更新を行う場合について準用する。

（承継の届出）

第六十六条 法第五十三条第二項において準用する法第四十一条第二項の規定による登録建築物エネルギー消費性能評価機関の地位の承継の届出をしようとする者は、別記様式第四十七による届出書に次に掲げる書類を添えて、これを国土交通大臣に提出しなければならない。

一 法第五十三条第二項において準用する法第四十一条第一項の規定により登録建築物エネルギー消費性能評価機関の事業の全部を譲り受けて登録建築物エネルギー消費性能評価機関の地位を承継した者にあつては、別記様式第四十八による事業譲渡証明書及び事業の全部の譲渡しがあつたことを証する書面

二 法第五十三条第二項において準用する法第四十一条第一項の規定により登録建築物エネルギー消費性能評価機関の地位を承継した相続人であつて、二以上の相続人の全員の同意により選定された者にあつては、別記様式第四十九による事業相続同意証明書及び戸籍謄本

三 法第五十三条第二項において準用する法第四十一条第一項の規定により登録建築物エネルギー消費性能評価機関の地位を承継した相続人であつて、前号の相続人以外の者にあつては、別記様式第五十による事業相続証明書及び戸籍謄本

四 法第五十三条第二項において準用する法第四十一条第一項の規定により合併によつて登録建築物エネルギー消費性能評価機関の地位を承継した法人にあつては、別記様式第五十一による事業承継証明書、事業の全部の承継があつたことを証する書面及びその法人の登記事項証明書

五 法第五十三条第二項において準用する法第四十一条第一項の規定により分割によつて登録建築物エネルギー消費性能評価機関の地位を承継した法人にあつては、別記様式第五十一による事業承継証明書、事業の全部の承継があつたことを証する書面及びその法人の登記事項証明書

（評価の業務の実施基準）

第六十七条 法第五十三条第二項において読み替えて準用する法第四十四条第二項の国土交通省令で定める基準は、次に掲げるとおりとする。

一 評価は、評価の申請に係る書類をもつて行うこと。

二 登録建築物エネルギー消費性能評価機関が評価の申請を自ら行った場合その他の場合で

あつて、評価の業務の公正な実施に支障を及ぼすおそれがあるものとして国土交通大臣が定める場合においては、評価を行わないこと。

三 評価の業務を行う部門の専任の管理者は、登録建築物エネルギー消費性能評価機関の役員又は当該部門を管理する上で必要な権限を有する者であること。

四 登録建築物エネルギー消費性能評価機関は、評価員の資質の向上のために、その研修の機会を確保すること。

五 評価の業務に関し支払うことのある損害賠償のため保険契約を締結していること。

（評価業務規程）

第六十八条 登録建築物エネルギー消費性能評価機関は、法第五十三条第二項において読み替えて準用する法第四十五条第一項の規定による評価業務規程の届出をしようとするときは、別記様式第五十二による届出書を国土交通大臣に提出しなければならない。

2 法第五十三条第二項において読み替えて準用する法第四十五条第二項の国土交通省令で定める事項は、次に掲げるものとする。

一 評価の業務を行う時間及び休日に関する事項

二 事務所のある地及びその事務所が評価の業務を行う区域に関する事項

三 評価を行う建築物の種類その他評価の業務の範囲に関する事項

四 評価の業務の実施の方法に関する事項

五 評価の業務に関する料金及びその収納の方法に関する事項

六 評価員の選任及び解任に関する事項

七 評価の業務に関する秘密の保持に関する事項

八 評価員の配置及び教育に関する事項

九 評価の業務の実施及び管理の体制に関する事項

十 財務諸表等の備付け及び財務諸表等に係る法第五十三条第二項において準用する法第四十六条第二項各号の請求の受付に関する事項

十一 法第五十三条第二項において読み替えて準用する法第四十七条第一項の帳簿その他の評価の業務に関する書類の管理に関する事項

十二 評価の業務に関する公正の確保に関する事項

十三 その他評価の業務の実施に関し必要な事項

3 登録建築物エネルギー消費性能評価機関は、法第五十三条第二項において読み替えて準用する法第四十五条第三項の規定による評価業務規程の変更の届出をしようとするときは、別記様式第五十三による届出書を国土交通大臣に提出しなければならない。

4 登録建築物エネルギー消費性能評価機関は、評価業務規程を評価の業務を行う全ての事務所、業務時間内に公衆に閲覧せしめるとともに、インターネットを利用し閲覧に供する方法により公表するものとする。

（電磁的記録に記録された事項を表示する方法）
第六十九条 法第五十三条第二項において準用する法第四十六条第二項第三号の国土交通省令で定める方法は、当該電磁的記録に記録された事項を紙面又は出力装置の映像面に表示する方法とする。

（電磁的記録に記録された事項を提供するための電磁的方法）
第七十条 法第五十三条第二項において準用する法第四十六条第二項第四号の国土交通省令で定める電磁的方法は、次に掲げるもののうち、登録建築物エネルギー消費性能評価機関が定めるものとする。

一 登録建築物エネルギー消費性能評価機関の使用に係る電子計算機と法第五十三条第二項において準用する法第四十六条第二項第四号に掲げる請求をした者（以下この条において「請求者」という。）の使用に係る電子計算機とを電気通信回線で接続した電子情報処理組織を使用する方法であつて、当該電気通信回線を通じて情報が送信され、請求者の使用に係る電子計算機に備えられたファイルに当該情報が記録されるもの

二 磁気ディスクをもつて調製するファイルに情報を記録したものを請求者に交付する方法
前項各号に掲げる方法は、請求者がファイルへの記録を出力することによる書面を作成できるものでなければならない。

（帳簿）

第七十一条 法第五十三条第二項において読み替えて準用する法第四十七条第一項の評価の業務に関する事項で国土交通省令で定めるものは、次に掲げるものとする。

一 評価を申請した者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名

二 評価の申請に係る建築物の名称
三 評価の申請に係る建築物に用いる特殊な構造及び設備の概要

四 評価の申請を受けた年月日

五 評価を実施した評価員の氏名

六 評価の結果

七 評価書の番号及びこれを交付した年月日

八 評価の業務に関する料金の額

2 前項各号に掲げる事項が、電子計算機に備えられたファイル又は磁気ディスクに記録され、必要に応じ登録建築物エネルギー消費性能評価機関において電子計算機その他の機器を用いて明確に紙面に表示されるときは、当該記録をもつて法第五十三条第二項において読み替えて準用する法第四十七条第一項の帳簿（次項及び第七十四条第二号において「帳簿」という。）への記載に代えることができる。

3 登録建築物エネルギー消費性能評価機関は、帳簿（前項の規定による記録が行われた同項のファイル又は磁気ディスクを含む。第七十四条第二号において同じ。）を、同号に掲げる行為が完了するまで保存しなければならない。（書類の保存）

第七十二条 法第五十三条第二項において読み替えて準用する法第四十七条第二項の評価の業務に関する書類で国土交通省令で定めるものは、第七十七条の申請書及びその添付書類並びに評価書の写しその他の審査の結果を記載した書類とする。

2 前項の書類が、電子計算機に備えられたファイル又は磁気ディスクに記録され、必要に応じ登録建築物エネルギー消費性能評価機関において電子計算機その他の機器を用いて明確に紙面に表示されるときは、当該ファイル又は磁気ディスクをもつて同項の書類に代えることができる。

3 登録建築物エネルギー消費性能評価機関は、第一項の書類（前項の規定による記録が行われた同項のファイル又は磁気ディスクを含む。第七十四条第二号において「書類」という。）を、同号に掲げる行為が完了するまで保存しなければならない。

（評価の業務の休廃止の届出）

第七十三条 登録建築物エネルギー消費性能評価機関は、法第五十三条第二項において読み替えて準用する法第五十一条第一項の規定により評価の業務の全部又は一部を休止し、又は廃止し

ようとするときは、別記様式第五十四による届出書を国土交通大臣に提出しなければならない。

（評価の業務の引継ぎ）

第七十四条 登録建築物エネルギー消費性能評価機関（国土交通大臣が法第五十七条第一項又は第二項の規定により登録建築物エネルギー消費性能評価機関の登録を取り消した場合にあつては、当該登録建築物エネルギー消費性能評価機関であつた者）は、法第五十八条第三項に規定する場合に、次に掲げる事項を行わなければならない。

一 評価の業務を国土交通大臣に引き継ぐこと。

二 帳簿及び書類を国土交通大臣に引き継ぐこと。

三 その他国土交通大臣が必要と認める事項（国土交通大臣が行う評価の手数料）

第七十五条 法第五十九条の規定による手数料の納付は、当該手数料の金額に相当する額の収入印紙をもつて行うものとする。ただし、印紙をもつて納め難い事由があるときは、現金をもつてすることができる。

2 法第五十九条の国土交通省令で定める手数料の額は、申請一件につき百六十四万円とする。ただし、既に法第五十八条第一項の国土交通大臣の評価を受けた特殊の構造又は設備を用いる建築物に係る軽微な変更があつた場合において、当該軽微な変更後の特殊の構造又は設備を用いる建築物について評価を受けようとするときの手数料の額は、申請一件につき四十一万円とする。

第五章 建築物再生可能エネルギー利用促進区域における措置

（再生可能エネルギー利用設備）

第七十六条 法第六十条第一項の国土交通省令で定める設備は、次に掲げるものとする。

一 次に掲げる再生可能エネルギー源を電気に変換する設備及びその付属設備

イ 太陽光

ロ 風力

ハ 水力

ニ 地熱

ホ バイオマス（動植物由来する有機物であつてエネルギー源として利用することができるもの（原油、石油ガス、可燃性天然ガス及び石炭並びにこれらから製造される

製品を除く。）をいう。次号において同じ。）

二 次に掲げる再生可能エネルギー源を熱として利用するための設備又はバイオマスを熱源とする熱を利用するための設備

イ 地熱

ロ 太陽熱

ハ 雪又は水を熱源とする熱その他の自然界に存する熱（大気中の熱並びにイ及びロに掲げるものを除く。）

（建築物再生可能エネルギー利用促進区域内の建築物に設置することができる再生可能エネルギー利用設備に係る説明）

第七十七条 法第六十三条第一項の規定により当該建築物に設置することができる再生可能エネルギー利用設備について説明を行おうとする建築士は、当該建築物の工事が着手される前に、当該説明を行わなければならない。（書面の記載事項）

第七十八条 法第六十三条第一項の国土交通省令で定める事項は、次に掲げるものとする。

一 法第六十三条第一項の規定による説明の年月日

二 説明の相手方の氏名又は名称及び法人にあつては、その代表者の氏名

三 当該建築物の所在地

四 当該建築物に設置することができる再生可能エネルギー利用設備の種類及び規模

五 当該建築物の建築に係る設計を行った建築士の氏名、その者の一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別及びその者の登録番号

六 当該建築士の属する建築士事務所の名称及び所在地並びに当該建築士事務所の一級建築士事務所、二級建築士事務所又は木造建築士事務所の別

（説明を要しない旨の意思の表明）

第七十九条 法第六十三条第二項の意思の表明（以下この条において「意思の表明」という。）は、当該建築物の建築に係る設計を行う建築士に次に掲げる事項を記載した書面を提出することによつて行うものとする。

一 意思の表明の年月日

二 意思の表明を行つた建築主の氏名又は名称及び法人にあっては、その代表者の氏名

三 法第六十三条第一項の規定による説明を要しない建築物の所在地

四 当該建築士の氏名、その者の一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別及びその者の登録番号

(書面に記載すべき事項の電磁的方法による提供の承諾等)

第八十条 建築士は、法第六十三条第三項の規定により同項に規定する事項を提供しようとするときは、あらかじめ、当該建築士に対し、その用いる次に掲げる電磁的方法(同項に規定する電磁的方法をいう。以下この条において同じ。)の種類及び内容を示し、書面又は電磁的方法による承諾を得なければならない。

一 次条第一項各号に掲げる方法のうち当該建築士が用いるもの

二 ファイルへの記録の方法

二 前項の規定による承諾を得た建築士は、当該建築士から書面又は電磁的方法により電磁的方法による提供を受けない旨の申出があったときは、当該建築士に対し、法第六十三条第三項に規定する事項の提供を電磁的方法によってしてはならない。ただし、当該建築士が再び前項の規定による承諾をした場合は、この限りでない。

(電磁的方法)

第八十一条 法第六十三条第三項の国土交通省令で定める方法は、次に掲げる方法とする。

一 電子情報処理組織を使用する方法のうちイ又はロに掲げるもの

イ 建築士の使用に係る電子計算機と建築主の使用に係る電子計算機とを接続する電気通信回線を通じて送信し、受信者の使用に係る電子計算機に備えられたファイルに記録する方法

ロ 建築士の使用に係る電子計算機に備えられたファイルに記録された書面に記載すべき事項を電気通信回線を通じて建築主の閲覧に供し、当該建築主の使用に係る電子計算機に備えられたファイルに当該事項を記録する方法(法第六十三条第三項に規定する方法による提供を受ける旨の承諾又は受けない旨の申出をする場合にあつては、建築士の使用に係る電子計算機に備えられたファイルにその旨を記録する方法)

二 磁気ディスクをもって調製するファイルに書面に記載すべき事項を記録したものを交付する方法

二 前項各号に掲げる方法は、建築主がファイルへの記録を出力することにより書面を作成することができないものでなければならない。

三 第一項第一号の「電子情報処理組織」とは、建築士の使用に係る電子計算機と、建築主の使用に係る電子計算機とを電気通信回線で接続した電子情報処理組織をいう。

第六章 雑則

(磁気ディスクによる手続)

第八十二条 次の各号に掲げる計画書、通知書若しくは申請書又はその添付図書のうち所管行政庁が認める書類については、当該書類に代えて、所管行政庁が定める方法により当該書類に明示すべき事項を記録した磁気ディスクであつて、所管行政庁が定めるものによることができる。

一 別記様式第一又は別記様式第二による計画書

二 別記様式第十一又は別記様式第十二による通知書

三 別記様式第二十七による申請書

四 別記様式第二十九による申請書

二 次の各号に掲げる計画書若しくは通知書又はその添付図書のうち登録建築物エネルギー消費性能判定機関が認める書類については、当該書類に代えて、当該書類に明示すべき事項を記録した磁気ディスクの提出のうち登録建築物エネルギー消費性能判定機関が定めるものによることができる。

一 別記様式第一又は別記様式第二による計画書

二 別記様式第十一又は別記様式第十二による通知書

(権限の委任)

第八十三条 法第六章第一節に規定する国土交通大臣の権限のうち、その判定の業務を一の地方整備局又は北海道開発局の管轄区域内のみにおいて行う登録建築物エネルギー消費性能判定機関に関するものは、当該地方整備局長及び北海道開発局長に委任する。ただし、法第四十五条第四項、法第四十八条、法第四十九条、法第五十条第一項及び法第五十二条に規定する権限については、国土交通大臣が自ら行うことを妨げない。

附 則

この省令は、法の施行の日(平成二十八年四月一日)から施行する。ただし、第十一条から第三十二条までの規定は、法附則第一条第二号に掲げる規定の施行の日から施行する。

附 則 (平成二十八年二月三〇日国土交通省令第八〇号) 抄

この省令は、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部の施行の日(平成二十九年四月一日)から施行する。

附 則 (平成二十八年二月二日経済産業省・国土交通省令第五号) 抄

(施行期日)

一 この省令は、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律附則第一条第二号に掲げる規定の施行の日(平成二十九年四月一日)から施行する。

附 則 (令和元年五月七日国土交通省令第一号)

この省令は、公布の日から施行する。

附 則 (令和元年六月二十八日国土交通省令第二〇号)

この省令は、不正競争防止法等の一部を改正する法律の施行の日(令和元年七月一日)から施行する。

附 則 (令和元年九月一日国土交通省令第三四号) 抄

(施行期日)

第一条 この省令は、成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律(以下「整備法」という。)の施行の日(令和元年九月十四日)から施行する。

附 則 (令和元年二月七日国土交通省令第四三三号)

(施行期日)

一 この省令は、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律の施行の日(令和元年十一月十六日)から施行する。

(経過措置)

二 この省令の施行の際現にあるこの省令による改正前の様式による用紙は、令和二年四月一日までの間は、これを取り繕って使用することができる。

附 則 (令和元年二月二六日国土交通省令第四七号) 抄

(施行期日)

第一条 この省令は、情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律の施行の日(令和元年十二月十六日)から施行する。

附 則 (令和二年九月四日国土交通省令第七五号)

この省令は、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律附則第一条第二号に掲げる規定の施行の日(令和三年四月一日)から施行する。ただし、第一条中建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律施行規則第十二条第一項及び第三項並びに第十三条の二第三項の改正規定は、公布の日から施行する。

附 則 (令和二年二月二三日国土交通省令第九八号)

(施行期日)

一 この省令は、令和三年一月一日から施行する。

二 この省令の施行の際現にあるこの省令による改正前の様式による用紙は、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

附 則 (令和三年八月三一日国土交通省令第五三三号)

(施行期日)

一 この省令は、令和三年九月一日から施行する。

(経過措置)

二 この省令の施行の際現にあるこの省令による改正前の様式による用紙は、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

附 則 (令和三年一〇月二二日国土交通省令第六八号) 抄

(施行期日)

第一条 この省令は、公布の日から施行する。

附 則 (令和四年九月二六日国土交通省令第六七号)

(施行期日)

一 この省令は、令和四年十月一日から施行する。ただし、別記様式第四十二の改正規定については、公布の日から施行する。

(経過措置)

二 この省令の施行の際現に脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律(令和四年法律第六十九号)第一条の規定による改正前の建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律(以下「旧法」という。)第三十五条第一項の認定を受けている建築物エネルギー消費性能向上計画の建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律(平成二十七年法律第五十三号。第四項において「法」という。)第三十三号。

一条第一項の規定による変更の認定の申請に係る申請書の様式については、建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律施行規則（平成二十八年国土交通省令第五号。以下「新規則」という。）別記様式第二十九にかかわらず、なお従前の例による。

この省令の施行の際現にされている旧法第三十四条第一項の規定による認定の申請（旧法第三十六条第一項の規定による変更の認定の申請を含む。次項において同じ。）に係る申請書の様式については、新規別記様式第二十七及び別記様式第二十九にかかわらず、なお従前の例による。

この省令の施行の日以後に前項の規定により
なす前従前の例によることとされる旧法第三十四
条第一項の規定による認定の申請に基づき旧法
第三十五条第一項の認定を受ける建築物エネル
ギー消費性能向上計画の法第三十一条第一項の
規定による変更の認定の申請に係る申請書の様
式については、新規則別記様式第二十九にかか
らず、なお従前の例による。

附 則（令和四年二月七日国土交通省
令第七八号）
の省令は、公布の日から施行する。

附 則（令和四年二月三日国土交通
省令第九二号）抄

第一条 この省令は、脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律附則第一条第三号に掲げる規定の施行の日（令和五年四月一日）から施行する。

附 則（令和五年九月二五日国土交通省
令第七五号）

この省令は、脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律附則第一条第四号に掲げる規定の施行の日（令和六年四月一日）から施行する。

附則（令和六年一月二九日国土交通省
令第五号）抄

第一条 この省令は、公布の日から施行する。

第二条 この省令の施行の際現にあるこの省令による改正前の様式による用紙は、当分の間、これを取り繕つて使用することができる。

2 この省令の施行前に交付した改正前のそれぞれの省令の規定による修了証明書及び修了証は、改正後のそれぞれの省令の規定による修了証明書及び修了証とみなす。

3 この省令による改正後の建築基準法施行規則
 第三条の二十六第四項（第六条の十、第六条の

十二、第六条の十四及び第六条の十六において準用する場合を含む）、建築物の耐震改修の促進に関する法律施行規則第十八条第四項、住宅の品質確保の促進等に関する法律施行規則第三十四条第四項、建築士法に基づく中央指定登録機関等に関する省令第三十三条第四項（第四十一条及び第四十四条において準用する場合を含む。）並びに建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律施行規則第五十三条第四項の規定は、この省令の施行日以後にその修了証明書又は修了証を交付する講習に係る書類について適用する。ただし、令和七年三月三十一日まで

にその修了証明書又は修了証を交付する講習に係る書類については、なお従前の例によること

ができる。

附則（令和六年三月八日国土交通省令
第一八号）抄

(施行期日)

第一条 この省令は、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律附則第一条第三号に掲げる規定の施行の日（令和六年四月一日）から施行する。

第二条 この省令の施行の際現にある第一条、第

二条又は第五条から第八条までの規定による改正前の様式による用紙は、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

附則（令和六年三月二九日国土交通省令第二六号）抄

(施行期日)

第一条 この省令は、令和六年四月一日から施行する。

附則（令和六年六月二八日国土交通省令第六八号）抄

(施行期日)

第一条 この省令は、脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律（附則第五条第三項において「改正法」という。）の施行の日（令和七年四月一日）から施行する。ただし、

【表 1】第一編（第 1 巻）～第四編（第 4 巻）日本書紀（元和 5 年）

（傳）
抄本
群書類

年 月 日

所蔵行状記述文書館蔵本（ホ）ホ 100 一 消費費計帳目録編 綴

提出者の氏名又は
法人名称等の所在地
提出者の氏名又は法人名称
代表者の氏名
代表者の住所

【表 2】第一編（第 1 巻）～消費費帳の作成に至る経緯（提出理由）表紙に記した
いへば、大抵の人々も大抵の事を知る所を含む。の趣意より、後編のホ 100 一 消費費帳目録編抄本
を提出した。この二冊の提出は、大行状記述文書館に於ける所蔵に、寧ろ相違ないものと
思ふ。以上を以て提出したのである。

交付金		消費費計帳目録 交付金		決算額	
年	月	年	月	年	月
明治 34	年	明治 34	年	明治 34	年

（傳）二二）

【提出理由に對する要約】

【表 3】提出の旨

【表 4】提出の旨

【表 5】提出の旨

【表 6】提出の旨

【表 7】提出の旨

【表 8】提出の旨

【表 9】提出の旨

【表 10】提出の旨

【表 11】提出の旨

【表 12】提出の旨

【表 13】提出の旨

【表 14】提出の旨

【表 15】提出の旨

【表 16】提出の旨

【表 17】提出の旨

【表 18】提出の旨

【表 19】提出の旨

【表 20】提出の旨

【表 21】提出の旨

【表 22】提出の旨

【表 23】提出の旨

【表 24】提出の旨

【表 25】提出の旨

【表 26】提出の旨

【表 27】提出の旨

【表 28】提出の旨

【表 29】提出の旨

【表 30】提出の旨

【表 31】提出の旨

【表 32】提出の旨

【表 33】提出の旨

【表 34】提出の旨

【表 35】提出の旨

【表 36】提出の旨

【表 37】提出の旨

【表 38】提出の旨

【表 39】提出の旨

【表 40】提出の旨

【表 41】提出の旨

【表 42】提出の旨

【表 43】提出の旨

【表 44】提出の旨

【表 45】提出の旨

【表 46】提出の旨

【表 47】提出の旨

【表 48】提出の旨

【表 49】提出の旨

【表 50】提出の旨

【表 51】提出の旨

【表 52】提出の旨

【表 53】提出の旨

【表 54】提出の旨

【表 55】提出の旨

【表 56】提出の旨

【表 57】提出の旨

【表 58】提出の旨

【表 59】提出の旨

【表 60】提出の旨

【表 61】提出の旨

【表 62】提出の旨

【表 63】提出の旨

【表 64】提出の旨

【表 65】提出の旨

【表 66】提出の旨

【表 67】提出の旨

【表 68】提出の旨

【表 69】提出の旨

【表 70】提出の旨

【表 71】提出の旨

【表 72】提出の旨

【表 73】提出の旨

【表 74】提出の旨

【表 75】提出の旨

【表 76】提出の旨

【表 77】提出の旨

【表 78】提出の旨

【表 79】提出の旨

【表 80】提出の旨

【表 81】提出の旨

【表 82】提出の旨

【表 83】提出の旨

【表 84】提出の旨

【表 85】提出の旨

【表 86】提出の旨

【表 87】提出の旨

【表 88】提出の旨

【表 89】提出の旨

【表 90】提出の旨

【表 91】提出の旨

【表 92】提出の旨

【表 93】提出の旨

【表 94】提出の旨

【表 95】提出の旨

【表 96】提出の旨

【表 97】提出の旨

【表 98】提出の旨

【表 99】提出の旨

【表 100】提出の旨

【表 101】提出の旨

【表 102】提出の旨

【表 103】提出の旨

【表 104】提出の旨

【表 105】提出の旨

【表 106】提出の旨

【表 107】提出の旨

【表 108】提出の旨

【表 109】提出の旨

【表 110】提出の旨

【表 111】提出の旨

【表 112】提出の旨

【表 113】提出の旨

【表 114】提出の旨

【表 115】提出の旨

【表 116】提出の旨

【表 117】提出の旨

【表 118】提出の旨

【表 119】提出の旨

【表 120】提出の旨

【表 121】提出の旨

【表 122】提出の旨

【表 123】提出の旨

【表 124】提出の旨

【表 125】提出の旨

【表 126】提出の旨

【表 127】提出の旨

【表 128】提出の旨

【表 129】提出の旨

【表 130】提出の旨

【表 131】提出の旨

【表 132】提出の旨

【表 133】提出の旨

【表 134】提出の旨

【表 135】提出の旨

【表 136】提出の旨

【表 137】提出の旨

【表 138】提出の旨

【表 139】提出の旨

【表 140】提出の旨

【表 141】提出の旨

【表 142】提出の旨

【表 143】提出の旨

【表 144】提出の旨

【表 145】提出の旨

【表 146】提出の旨

【表 147】提出の旨

【表 148】提出の旨

【表 149】提出の旨

【表 150】提出の旨

【表 151】提出の旨

【表 152】提出の旨

【表 153】提出の旨

【表 154】提出の旨

【表 155】提出の旨

【表 156】提出の旨

【表 157】提出の旨

【表 158】提出の旨

【表 159】提出の旨

【表 160】提出の旨

【表 161】提出の旨

【表 162】提出の旨

【表 163】提出の旨

【表 164】提出の旨

【表 165】提出の旨

【表 166】提出の旨

【表 167】提出の旨

【表 168】提出の旨

【表 169】提出の旨

【表 170】提出の旨

【表 171】提出の旨

【表 172】提出の旨

【表 173】提出の旨

【表 174】提出の旨

【表 175】提出の旨

【表 176】提出の旨

【表 177】提出の旨

【表 178】提出の旨

【表 179】提出の旨

【表 180】提出の旨

【表 181】提出の旨

【表 182】提出の旨

【表 183】提出の旨

【表 184】提出の旨

【表 185】提出の旨

【表 186】提出の旨

【表 187】提出の旨

【表 188】提出の旨

【表 189】提出の旨

【表 190】提出の旨

【表 191】提出の旨

【表 192】提出の旨

【表 193】提出の旨

【表 194】提出の旨

【表 195】提出の旨

【表 196】提出の旨

【表 197】提出の旨

【表 198】提出の旨

【表 199】提出の旨

【表 200】提出の旨

【表 201】提出の旨

【表 202】提出の旨

【表 203】提出の旨

【表 204】提出の旨

【表 205】提出の旨

【表 206】提出の旨

【表 207】提出の旨

【表 208】提出の旨

【表 209】提出の旨

【表 210】提出の旨

【表 211】提出の旨

【表 212】提出の旨

【表 213】提出の旨

【表 214】提出の旨

【表 215】提出の旨

【表 216】提出の旨

【表 217】提出の旨

【表 218】提出の旨

【表 219】提出の旨

【表 220】提出の旨

【表 221】提出の旨

【表 222】提出の旨

【表 223】提出の旨

【表 224】提出の旨

【表 225】提出の旨

【表 226】提出の旨

【表 227】提出の旨

【表 228】提出の旨

【表 229】提出の旨

【表 230】提出の旨

【表 231】提出の旨

【表 232】提出の旨

【表 233】提出の旨

【表 234】提出の旨

【表 235】提出の旨

【表 236】提出の旨

【表 237】提出の旨

【表 238】提出の旨

【表 239】提出の旨

【表 240】提出の旨

【表 241】提出の旨

【表 242】提出の旨

【表 243】提出の旨

【表 244】提出の旨

【表 245】提出の旨

【表 246】提出の旨

【表 247】提出の旨

【表 248】提出の旨

【表 249】提出の旨

【表 250】提出の旨

【表 251】提出の旨

【

- [illegible]

[illegible]

設備機器とその寿命を記載してください。①「効率」の欄には、「燃費」では燃焼熱の熱効率など、電気では消費電力を消費電力に換算した値を、「寿命」では燃費電力と燃焼熱の消費電力を設計風量で換算した値をいいます。以下同。②換気効率係数を採用する場合などは、消費電力及び有効熱交換率で換算してください。③「経費」ではピーク電力率、年間の設備保証率及び年間の設備寿命をそれぞれ記載してください。ただし、仮定等、仮所及び使途がない場合は、④「経費」の欄に記載する必要はありません。

④ ①～③書ききれない事項で特に記入すべき事項は、2欄に記入し、又は別紙に記入して添えてください。

様式第三（第六条第一項第一号関係）（日本産業規格A列4番）

様式第三（第六第一項第一号関係）（日本産業規格A列4番）

建設物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第11条第3項の規定による通知を収める旨の通知書

建設主 宛 所管行政庁 宛

下記による計画書は、下記の建設物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第11条第3項の規定による通知を収める旨の通知書に適合していることを通知します。

1. 建設年月日 年 月 日

2. 建設場所

3. 建設物のエネルギー消費性能の概要

（注）この通知は、大別に分けておいてください。

様式第四（第六条第一項第二号関係）（日本産業規格A列4番）

様式第四（第六第一項第二号関係）（日本産業規格A列4番）

建設物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第11条第4項の規定による通知を収める旨の通知書

建設主 宛 所管行政庁 宛

別添の計画書及び設計図書に添付の建設物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第11条第4項の規定による通知を収める旨の通知書に適合していることを通知します。

なお、この通知に不備があるときは、この通知を受けた日の翌日から起算して30日以内には、建設主が建設物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第11条第4項の規定による通知を収める旨の通知書を送付することになります。

また、この通知を受けた日（当該通知につき審査請求をした場合においては、これに対する審査の決定を受けた日の翌日から起算して30日以内）に、建設主が建設物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第11条第4項の規定による通知を収める旨の通知書を送付することになります。

（注）この通知は、大別に分けておいてください。

様式第五（第六条第二項関係）（日本産業規格A列4番）

様式第五（第六第二項関係）（日本産業規格A列4番）

建設物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第11条第4項の規定による通知を収める旨の通知書

建設主 宛 所管行政庁 宛

下記による計画書は、下記の建設物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第11条第4項の規定による通知を収める旨の通知書に適合していることを通知します。

1. 建設年月日 年 月 日

2. 建設場所

（注）この通知は、大別に分けておいてください。

様式第六（第六条第三項関係）（日本産業規格A列4番）

様式第六（第六第三項関係）（日本産業規格A列4番）

建設物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第11条第4項の規定による通知を収める旨の通知書

建設主 宛 所管行政庁 宛

下記による計画書は、下記の建設物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第11条第4項の規定による通知を収める旨の通知書に適合していることを通知します。

なお、この通知に不備があるときは、この通知を受けた日の翌日から起算して30日以内には、建設主が建設物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第11条第4項の規定による通知を収める旨の通知書を送付することになります。

また、この通知を受けた日（当該通知につき審査請求をした場合においては、これに対する審査の決定を受けた日の翌日から起算して30日以内）に、建設主が建設物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第11条第4項の規定による通知を収める旨の通知書を送付することになります。

（注）この通知は、大別に分けておいてください。

1. 建設年月日 年 月 日

2. 建設場所

（注）この通知は、大別に分けておいてください。

様式第七（第七条第一項第一号関係）（日本産業規格A列4番）

様式第七（第七条第一項第一号関係）（日本産業規格A列4番）

建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第1条第2項の規定により
認可を受けて適用される同法律1条第1項第1号の項の規定による
適合判定通知書

建築主 宛 建築確認番号 年 月 日

建築主 宛 建築確認番号 年 月 日

下記による計画書は、下記の構成により建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第1条第2項の規定により
認可を受けて適用される同法律1条第1項第1号の項の規定による
適合判定通知書

1. 建築年月日 年 月 日

2. 建築場所

3. 建築物のエネルギー消費性能適合判定を行った適合性判定表氏名

(注)この図は、大図に保存していただく。

様式第八（第七条第一項第二号関係）（日本産業規格A列4番）

様式第八（第七条第一項第二号関係）（日本産業規格A列4番）

建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第1条第2項の規定により
認可を受けて適用される同法律1条第1項第1号の項の規定による
適合しない旨の通知書

建築主 宛 建築確認番号 年 月 日

建築主 宛 建築確認番号 年 月 日

別添の計画書及び図面に記載の建築物のエネルギー消費性能適合判定は、下記の構成により建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第1条第2項の規定により
認可を受けて適用される同法律1条第1項第1号の項の規定による
適合しない旨の通知書

1. 建築年月日 年 月 日

2. 建築場所

3. 建築物のエネルギー消費性能適合判定を行った適合性判定表氏名

(注)この図は、大図に保存していただく。

様式第九（第七条第二項関係）（日本産業規格A列4番）

様式第九（第七条第二項関係）（日本産業規格A列4番）

建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第1条第2項の規定により
認可を受けて適用される同法律1条第1項第1号の項の規定による
期間を延長する旨の通知書

建築主 宛 建築確認番号 年 月 日

建築主 宛 建築確認番号 年 月 日

下記による計画書は、下記の構成により建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第1条第2項の規定により
認可を受けて適用される同法律1条第1項第1号の項の規定による
期間を延長する旨の通知書

1. 建築年月日 年 月 日

2. 建築場所

(備考)

(備考)

様式第十（第七条第三項関係）（日本産業規格A列4番）

様式第十（第七条第三項関係）（日本産業規格A列4番）

建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第1条第2項の規定により
認可を受けて適用される同法律1条第1項第1号の項の規定による
適合しない旨の通知書

建築主 宛 建築確認番号 年 月 日

建築主 宛 建築確認番号 年 月 日

下記による計画書は、下記の構成により建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第1条第2項の規定により
認可を受けて適用される同法律1条第1項第1号の項の規定による
適合しない旨の通知書

1. 建築年月日 年 月 日

2. 建築場所

(備考)

(備考)

[illegible]

様式第4号(第五第三三項関係)(日本建築業法第4条)

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律は第4条の規定による
適合しない旨の通知書

第 年 月 日

建築主 氏 官署行政庁 印

別添の計画通知書及び添付図面に記載の計画は、下記の理由により建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第4条第3項の建築物エネルギー消費性能基準に適合しないものと判定しましたので、通知します。

記

(備考)

様式第4号(第五第三項関係)(日本建築業法第4条)

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律は第4条の規定による
適合しない旨の通知書

第 年 月 日

建築主 氏 官署行政庁 印

別添の計画通知書及び添付図面に記載の計画は、下記の理由により建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第4条第3号の建築物エネルギー消費性能基準に適合しないものと判定しましたので、通知します。

記

(備考)

様式第十五（第九条第三項関係）（日本産業規格A列4番）

様式第十五（第九条第三項関係）（日本産業規格A列4番）

建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
期間を延長する旨の通知書

年 月 日

建築主 殿 所管行政庁 局

下記の事項は、下記の理由により建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
期間を延長することと、同条第2項の規定により通知します。

1. 通知年月日 年 月 日付 第 号

2. 建築場所

(理由)

(延長する期間)

(備考)

様式第十六（第九条第三項関係）（日本産業規格A列4番）

様式第十六（第九条第三項関係）（日本産業規格A列4番）

建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
期間を延長する旨の通知書

年 月 日

建築主 殿 所管行政庁 局

下記の事項は、下記の理由により建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
期間を延長することと、同条第2項の規定により通知します。

1. 通知年月日 年 月 日付 第 号

2. 建築場所

(理由)

(備考)

様式第十七（第九条第四項関係）（日本産業規格A列4番）

様式第十七（第九条第四項関係）（日本産業規格A列4番）

建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
期間を延長する旨の通知書

年 月 日

建築主 殿 所管行政庁 局

下記の事項は、建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
期間を延長することと、同条第2項の規定により通知します。

1. 通知年月日 年 月 日付 第 号

2. 建築場所

3. 建築物又はその部分の概要

4. 建築物のエネルギー消費性能適合性判定を行った適合性判定員名

(注意)この通知は、大目に保存しておくべき。

様式第十八（第九条第四項関係）（日本産業規格A列4番）

様式第十八（第九条第四項関係）（日本産業規格A列4番）

建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
期間を延長する旨の通知書

年 月 日

建築主 殿 所管行政庁 局

下記の事項は、建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第3条第2項の規定による
期間を延長することと、同条第2項の規定により通知します。

1. 通知年月日 年 月 日付 第 号

2. 建築場所

3. 建築物又はその部分の概要

4. 建築物のエネルギー消費性能適合性判定を行った適合性判定員名

(注意)この通知は、大目に保存しておくべき。

2. 通知年月日 年 月 日付け 第 号

2. 建設場所

(煙山)

(延長する期間)

(備考)

1. 通知年月日 年 月 日付付 第 号

2. 建築場所

(理由)

(備考)

[illegible]

建築物のエネルギー消費量の削減を図るための建築物のエネルギー性能の向上による特定の構造の構造を用いる建築物の認定を受けるための、次のとおり申請します。この申請書及び附随図書の記載の事項は、実地に相違ありません。

記

- 認定を受けようとする特定の構造又は設備を用いる建築物の名称
- 認定を受けようとする特定の構造又は設備を用いる建築物の所在地
- 特定の構造又は設備を用いる建築物の内容

4. 備考

(注書)

- 申請者が法人である場合には、代表者の氏名も併せて記載してください。
- 申請者の住所については、代表者である申請者の住所を記載してください。
- 申請者に対する事項は、当該法人に適用することになります。
- この申請書のなかに記載されている権利関係の証明を一切していないものに限る。を貼付けてください。

樣式第二十（第九條第四項關係）（日本產業規格A列4番）

様式第二十一（第十二条関係）（日本産業規格 A 列 7 番）

様式第二十二（第十四条関係）（日本産業規格 A 列 4 番）

[illegible][illegible]

様式第三十三（第三十三条関係）（日本産業規格A列4番）

様式第三十三(第三十三条関係)(日本産業規格A列4番)
登録種規格×××××-消費性能力定規定期更新届出書

年 月 日

国土交通大臣 殿

届出者の住所
届出者の氏名 又は名称
代表者の氏名

下記のとおり、
(1) 品名又は名称及び用途並びに法人にあっては、その代表者の氏名
(2) 特定の職務を行う要員の所属
(3) 適合性判定委員の氏名
(4) 役員(の氏名(法人が法人である場合に限り。))
(5) 特定の職務を行う要員の専門の職任の管理者の氏名
(6) 特定の職務を行う区域
を定めますので、登録時の×××××-消費性能力の向上等に関する法律第29条第2項の規定に基づき、届け出ます。

届

変更事項				
届出事項	変更前	変更後	変更予定年月日	備考

変更の理由

《注書》(3)の適合性判定委員、(4)の役員又は(5)の特定の職務者に変更がある場合は、変更後の適合性判定委員、役員又は特定の職務者の職歴を記載した書類を添付してください。

様式第三十四（第三十四条第一項関係）（日本産業規格A列4番）

様式第三十四(第三十四条第一項関係)(日本産業規格A列4番)
登録種規格×××××-消費性能力定規定期更新届出書

年 月 日

国土交通大臣 殿

申請者の住所
申請者の氏名 又は名称
代表者の氏名

種規格の×××××-消費性能力の向上等に関する法律第29条第2項の規定を受けた
1の7で、関係第2項において準用する同法第29条の規定に基づき、申請します。

登録番号

2. 登録の有効期限

年 月 日

3. 特定の職務を行う要員の所属

4. 適合性判定委員の氏名

5. 役員(の氏名(申請者が法人である場合に限り。))

6. 特定の職務を行う要員の専門の職任の管理者の氏名

7. 特定の職務を行う区域

《注書》
1. 申請者が法人である場合には、代表者の氏名も併せて記載してください。
2. 附加条件等に関する書類を添付してください。

様式第三十五（第三十五条関係）（日本産業規格A列4番）

様式第三十五(第三十五条関係)(日本産業規格A列4番)
登録種規格×××××-消費性能力定規更新届出書

年 月 日

国土交通大臣 殿

届出者の住所
届出者の氏名 又は名称
代表者の氏名

種規格の×××××-消費性能力の向上等に関する法律第29条第2項の規定に基づき、次のとおり更新届出ます。

更新の届出	
更新事項	更新後の氏名 又は名称
更新する事項	氏名 又は名称
更新の年月日及び登録番号	更新の年月日 及び 登録番号
更新する事項	更新の年月日 及び 登録番号

様式第三十六（第三十五条第一号関係）（日本産業規格A列4番）

様式第三十六(第三十五条第一号関係)(日本産業規格A列4番)
登録種規格×××××-消費性能力定規更新届出書

年 月 日

国土交通大臣 殿

譲り渡した者 氏名 又は名称及び法人に
あつてはその代表者の氏名
住所
譲り受けた者 氏名 又は名称及び法人に
あつてはその代表者の氏名
住所

次のとおり登録種規格×××××-消費性能力定規更新の事項の全部の譲渡がありました
ことを説明します。

1. 登録の年月日

2. 登録番号

3. 譲渡しの年月日

(注意) 証明書は、登録建築物エネルギー消費性능判定機関の地位を承認する者として選定された者以外の関係人全員の氏名を記載してください。

様式第三十八（第三十五条第三号関係）（日本産業規格A列4番）

(注意)証明者は、2人以上としてください。

様式第三十九（第三十五条第五号関係）（日本産業規格 A 列 4 番）

3. 承継の年月日

様式第四十（第四十一条第十号関係）（日本産業規格A列4番）

様式第四十六（第六十五条第一項関係）（日本産業規格A列4番）

様式第四十七（第六十六条関係）（日本産業規格A列4番）

様式第四十八（第六十六条第一号関係）（日本産業規格A列4番）

業規格A列4番)

様式第九(四、六、七の各第二号関係)(日本建築規格協会)

登録建築物エネルギー消費性評価機関等準則認定同意書

年 月 日

国土交通大臣 殿

証明者 氏名
住所

表の上より登録建築物エネルギー消費性評価機関について補填がありましたことをご説明します。

1. 証明者の氏名及び住所

2. 登録の日付

3. 登録番号

4. 登録建築物エネルギー消費性評価機関の地位を承継するとして認定された者の氏名及び住所

5. 指定期間の年月日

(注意)証明者は、登録建築物エネルギー消費性評価機関の地位を承継する者として認定

規格A列4番)

[illegible]

業規格A列4番)

格式第五十一(四十六号建築五号附設)(日本建築規格K4は参照)
 登録建物№ネキネー一消費性態評価機関の事業承認出願書

年 月 日

国土交通大臣 殿

敬啟者 氏名又は名称及び法人に
 あってはその代表者の氏名

住所

敬啟者 氏名又は名称及び法人に
 あってはその代表者の氏名

住所

表のとおり分別について登録建物№ネキネー一消費性態評価機関の事業の全額が承認が
 ありますことを説明します。

1. 登録の年月日

2. 登録番号

3. 承認の年月日

業規格A列4番)

様式第五十二(第六十八条第一項第四)(日本建築業法49条4項)
 評価業務執行履歴書

年 月

国土交通大臣 殿

居 住 者 の 住 所
 居住者の氏名又は名称
 代表者の氏名

評価業務執行を定めたので、建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第33条第2項に照して訂定された使用する同法第36条第3項の規定に基づき、別紙のとおり届け出ます。

(注釈)居住に係る評価業務執行を都付してください。

建設第五号(平成13年告示)(日本建築規格4(第4号))
 登録建築物エネルギー消費性評価関係調査依頼書提出書

年 月 日

国土交通大臣 殿

提出者の住所
 提出者の氏名又は名称
 代表者の氏名

建築物のエネルギー消費性評価の向上等に関する法律第33条第2項において認め得る事項とする同意(建築物の敷地の規定に基づき、評価の対象の一部(敷地)の増設(廃止)をするもの、その増設(廃止)の時期)を

1. 増設(廃止)しようとする評価の対象の範囲
2. 増設(廃止)しようとする年月日
3. 増設しようとする場合にあっては、その期間
4. 増設(廃止)の理由